



2026年9月期 第3四半期 連結決算 説明資料

2026年8月14日

株式会社くふうカンパニーホールディングス



目次

1. 2026年9月期 第3四半期 連結業績

2. 各事業セグメントの概況

- 毎日の暮らし事業
- ライフイベント事業
- 投資・インキュベーション事業



1. 2026年9月期 第3四半期 連結業績

毎日の暮らし事業

- ・ くふうカンパニー

ライフイベント事業

- ・ くふう住まいコンサルティング
- ・ くふう住まい
- ・ くふうウェディング

投資・インキュベーション事業

- ・ キッズスター
- ・ Seven Signatures International（SSI）
- ・ ゴールドエッグス
- ・ アトリエはるか
- ・ くふうキャピタル
- ・ くふうカンパニーホールディングス（投資事業）

※ (株)アトリエはるか を2026年9月期 第1四半期連結会計期間(Q1)末にB/S連結、第2四半期連結会計期間(Q2)よりP/L連結を開始。

※ 2026年3月末付で(株)くふうしずおかの全事業を (株)くふうカンパニーに統合。

- 売上高は 11,493百万円（前年同期比 115.6%）、営業利益は 672百万円（前年同期比 323.9%）、EBITDA は 1,453百万円（前年同期比 134.6%）で着地

各事業の進捗

毎日の暮らし事業

- 主力のくふうトクバイは、定額課金収入の伸びを中心に増収基調に、営業利益も引き続き順調に伸長
- 主要4業態での定額課金店舗数の増加を推進し、売上高の再成長に向けた取り組みを強化

ライフイベント事業

- 住まいFC事業やウェディング事業の業績は安定的に推移
- 住まい相談事業はオペレーション最適化の効果が出始め、セグメント売上高及び利益に貢献

投資・ インキュベーション事業

- 引き続きアトリエはるかの売上高及び利益が貢献

・ 売上高は 11,493百万円（前年同期比 115.6%）、通期業績予想に対する進捗率は 67.6%

	25/9期	26/9期			
	Q3累計	Q3累計※	前年同期比	通期予想	進捗率
売上高	9,938	11,493	115.6 %	17,000	67.6 %
毎日の暮らし事業	2,109	2,094	99.3 %	-	-
ライフイベント事業	5,927	6,292	106.2 %	-	-
投資・インキュベーション事業	1,981	3,167	159.8 %	-	-
調整額	▲79	▲62	-	-	-

(単位：百万円)

※ 投資・インキュベーション事業において (株)アトリエはるか を2026年9月期 第2四半期連結会計期間(Q2)よりP/L連結開始。
※ 2026年9月期 第3四半期連結会計期間(Q3)より、(株)くふうしずおかの全事業を (株)くふうカンパニーに統合し、投資・インキュベーション事業から毎日の暮らし事業に区分変更。

- 営業利益は 672百万円（前年同期比 323.9%）、EBITDA は 1,453百万円（前年同期比 134.6%）、通期業績予想に対する進捗率はそれぞれ 67.3% 及び 72.7%

	25/9期	26/9期			
	Q3累計	Q3累計※	前年同期比	通期予想	進捗率
営業利益	207	672	323.9 %	1,000	67.3 %
毎日の暮らし事業	546	726	133.0 %	-	-
ライフイベント事業	462	400	86.5 %	-	-
投資・インキュベーション事業	275	193	70.1 %	-	-
調整額	▲1,076	▲647	-	-	-
EBITDA	1,079	1,453	134.6 %	2,000	72.7 %

（単位：百万円）

※ 投資・インキュベーション事業において (株)アトリエはるか を2026年9月期 第2四半期連結会計期間(Q2)よりP/L連結開始。
※ 2026年9月期 第3四半期連結会計期間(Q3)より、(株)くふうしずおかの全事業を (株)くふうカンパニーに統合し、投資・インキュベーション事業から毎日の暮らし事業に区分変更。

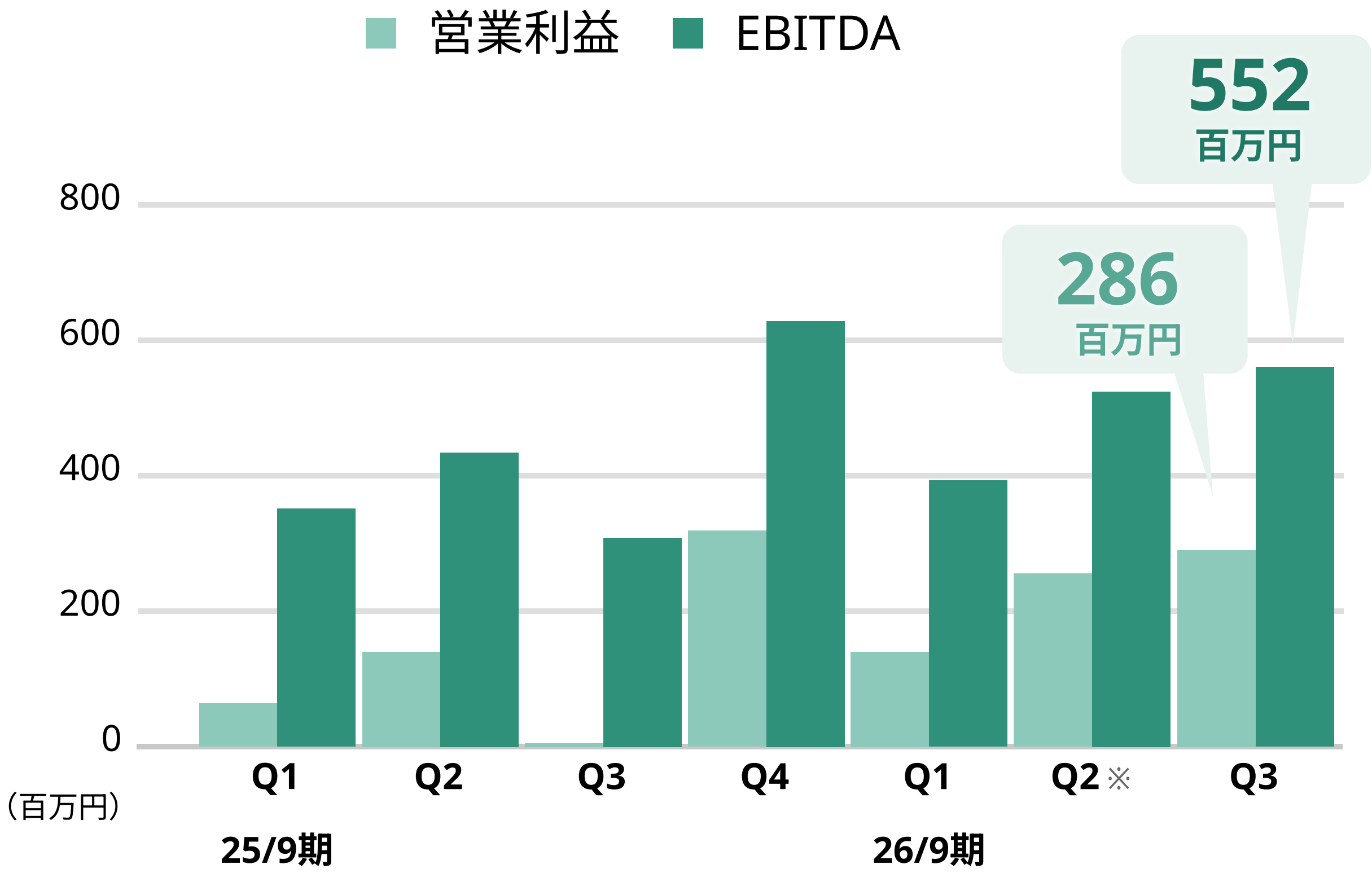
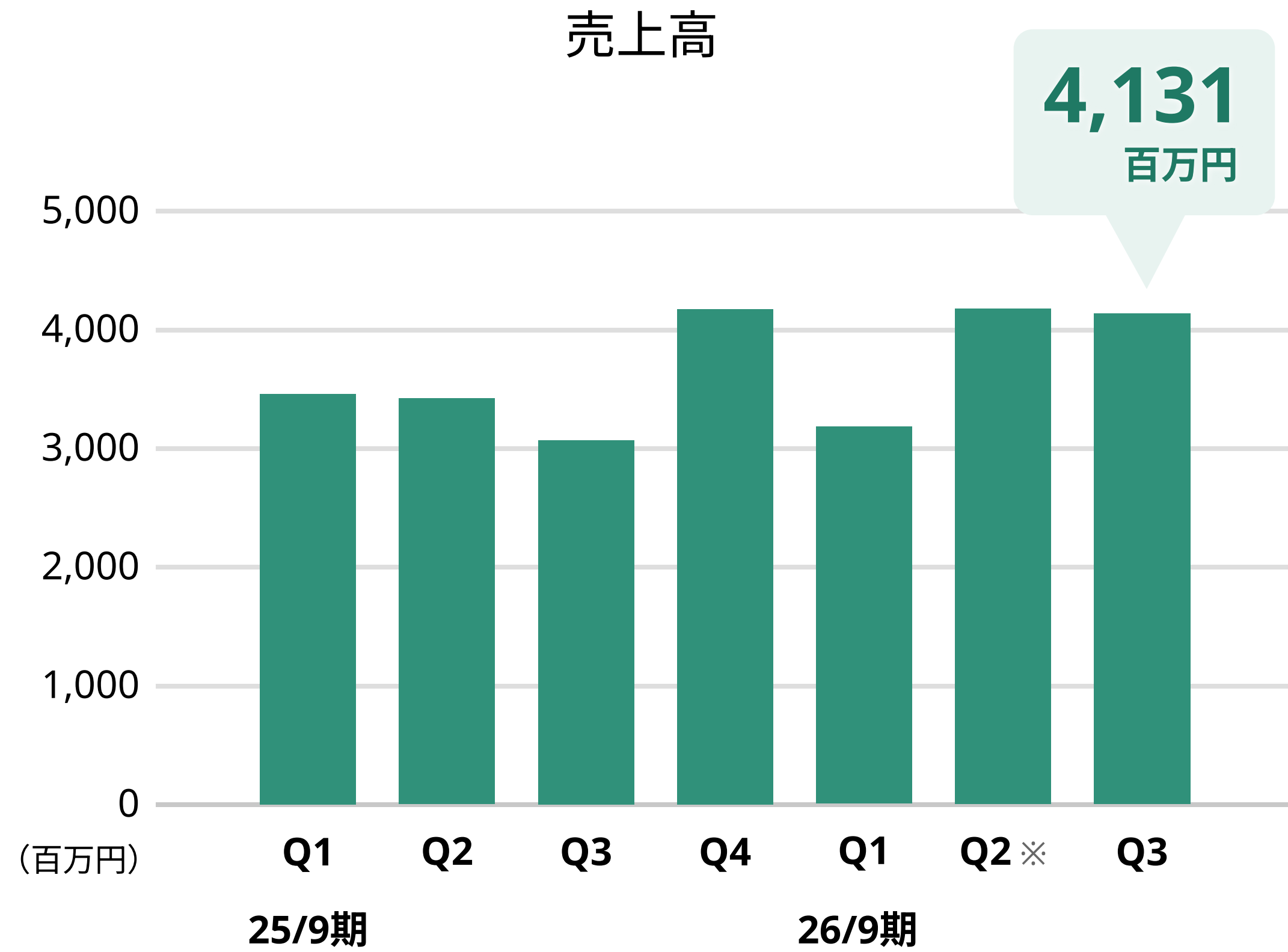
- 当第3四半期連結会計期間は売上高、営業利益、EBITDAの全てにおいて、前年同期比で増収増益を達成、今期の利益は四半期推移で引き続き増益基調を維持

	25/9期				26/9期				
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2※	Q3	前年同期比	前四半期比
売上高	3,454	3,419	3,064	4,171	3,182	4,179	4,131	134.8%	98.9%
営業利益	63	138	5	314	138	247	286	4928.3%	115.9%
EBITDA	346	428	304	619	387	512	552	181.4%	107.8%

(単位：百万円)

※ 投資・インキュベーション事業において (株)アトリエはるか を2026年9月期 第2四半期連結会計期間(Q2)よりP/L連結開始。

- 当第3四半期連結会計期間は売上高、営業利益、EBITDAの全てにおいて、前年同期比で増収増益を達成、今期の利益は四半期推移で引き続き増益基調を維持



※ 投資・インキュベーション事業において (株)アトリエはるか を2026年9月期 第2四半期連結会計期間(Q2)よりP/L連結開始。

連結業績 セグメント別 売上高（四半期）

- くふうトクバイ事業を中心に、毎日の暮らし事業、ライフイベント事業ともに増収基調
- 投資・インキュベーション事業はアトリエはるかの貢献が大きい

		25/9期				26/9期				
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2 ※1	Q3 ※2	前年同期比	前四半期比
売上高	毎日の暮らし事業	715	716	677	654	692	691	710	104.9%	102.8%
	ライフイベント事業	2,007	1,990	1,929	2,606	2,023	2,109	2,160	112.0%	102.4%
	投資・インキュベーション事業	763	739	477	933	488	1,398	1,280	267.9%	91.6%
	調整額	▲31	▲27	▲20	▲22	▲20	▲20	▲20	-	-
	合計	3,454	3,419	3,064	4,171	3,182	4,179	4,131	134.8%	98.9%

（単位：百万円）

※1：投資・インキュベーション事業において (株)アトリエはるか を2026年9月期 第2四半期連結会計期間(Q2)よりP/L連結開始。
※2：2026年9月期 第3四半期連結会計期間(Q3)より、(株)くふうしずおかの全事業を (株)くふうカンパニーに統合し、投資・インキュベーション事業から毎日の暮らし事業に区分変更。

連結業績 セグメント別 営業利益（四半期）

- 毎日の暮らし事業は順調に利益を伸ばしており、
ライフイベント事業は住まい相談事業のオペレーション改善による利益創出効果が貢献

		25/9期				26/9期				
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2 ※1	Q3 ※2	前年同期比	前四半期比
営業利益	毎日の暮らし事業	146	197	202	194	224	244	257	127.4%	105.5%
	ライフイベント事業	174	166	121	323	114	116	168	138.9%	144.4%
	投資・インキュベーション事業	109	120	45	147	9	103	79	176.3%	77.1%
	調整額	▲366	▲346	▲363	▲350	▲209	▲217	▲219	-	-
合計		63	138	5	314	138	247	286	4928.3%	115.9%

（単位：百万円）

※1：投資・インキュベーション事業において (株)アトリエはるか を2026年9月期 第2四半期連結会計期間(Q2)よりP/L連結開始。
※2：2026年9月期 第3四半期連結会計期間(Q3)より、(株)くふうしずおかの全事業を (株)くふうカンパニーに統合し、投資・インキュベーション事業から毎日の暮らし事業に区分変更。

連結業績 B/S

	2025年9月末	2026年6月末	増減額	増減要因
流動資産	12,769	13,650	880	
（現金及び預金）	7,434	8,078	644	
（営業投資有価証券）	1,889	1,609	▲280	
（販売用不動産）	1,673	1,443	▲229	
固定資産	3,706	3,909	203	・アトリエはるかのB/S連結の影響等により、 現預金を含め総資産は1,080百万円増加
（のれん）	739	526	▲212	
（投資その他の資産）	1,316	1,383	67	
資産	16,485	17,566	1,080	
負債	6,849	7,269	420	
（短期借入金及び長期借入金）	3,396	3,711	315	
純資産	9,635	10,296	660	
（資本金）	30	77	47	・アトリエはるかのB/S連結の影響により、 短期借入金及び長期借入金は315百万円増加
（資本剰余金）	8,620	8,225	▲395	
（利益剰余金）	▲299	578	878	・資本剰余金の取崩しや利益計上の貢献により、 利益剰余金は878百万円増加
（自己株式）	▲32	▲32	0	
（その他有価証券評価差額金）	▲323	▲557	▲234	
（非支配株主持分）	1,631	1,978	347	
負債及び純資産	16,485	17,566	1,080	

（単位：百万円）

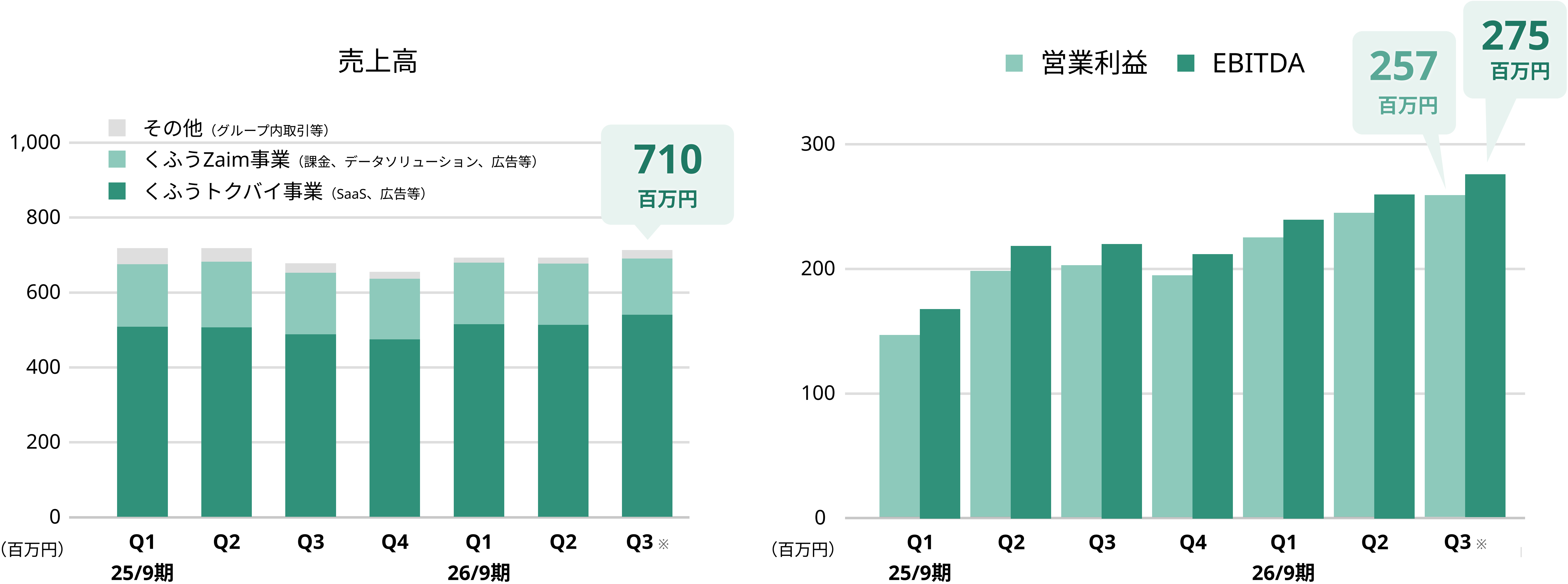
※ (株)アトリエはるか を2026年9月期 第1四半期連結会計期間(Q1)末にB/S連結開始。

2. 各事業セグメントの概況

毎日の暮らし事業



- 主力のくふうトクバイ事業は、主要4業態での定額課金店舗数の増加を推進し増収傾向に、利益も引き続き増益を維持



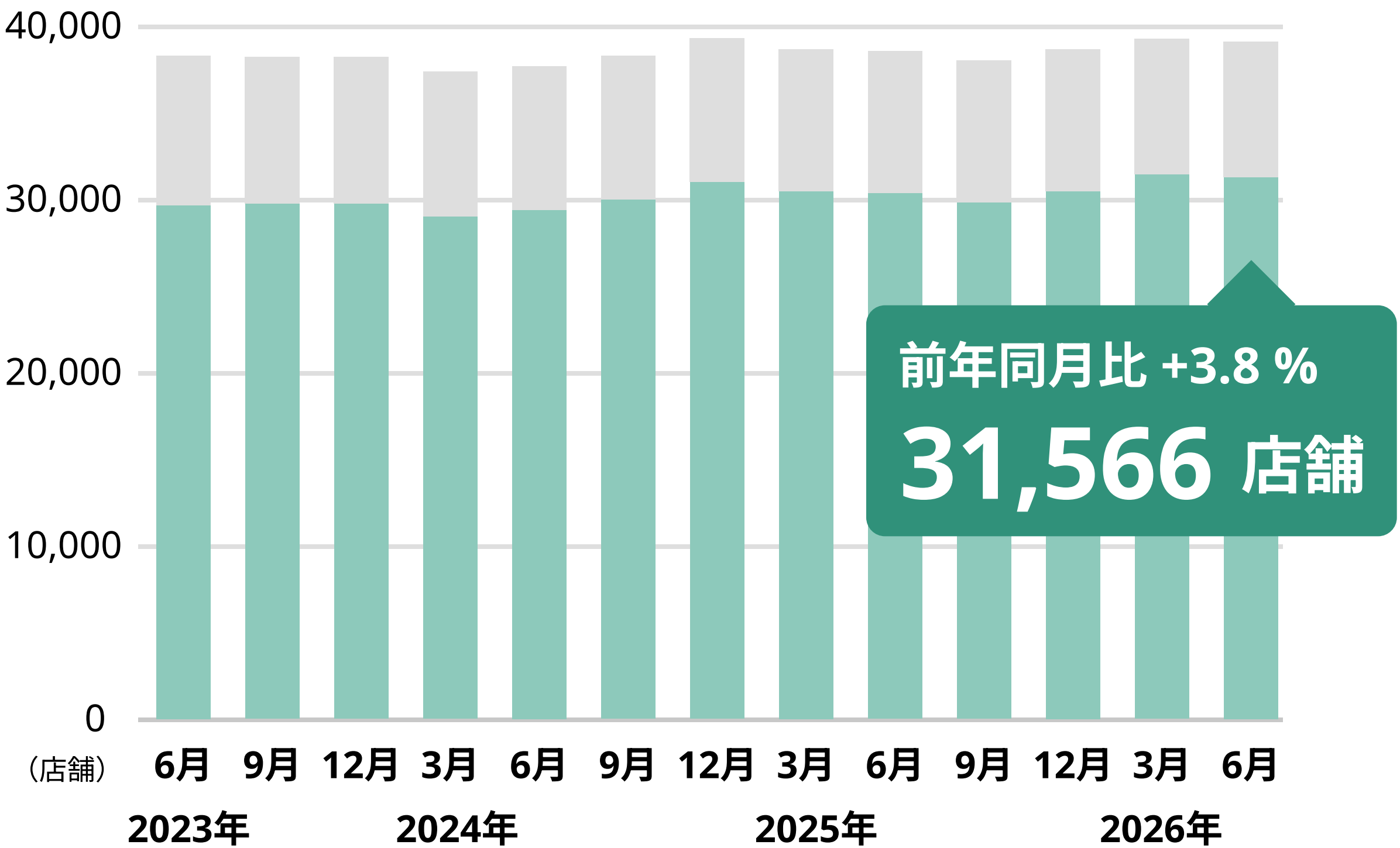
※ 2026年9月期 第3四半期連結会計期間(Q3)より、(株)くふうしずおかの全事業を (株)くふうカンパニーに統合し、投資・インキュベーション事業から毎日の暮らし事業に区分変更。

くふうトクバイ有料掲載店舗数と平均単価の推移※

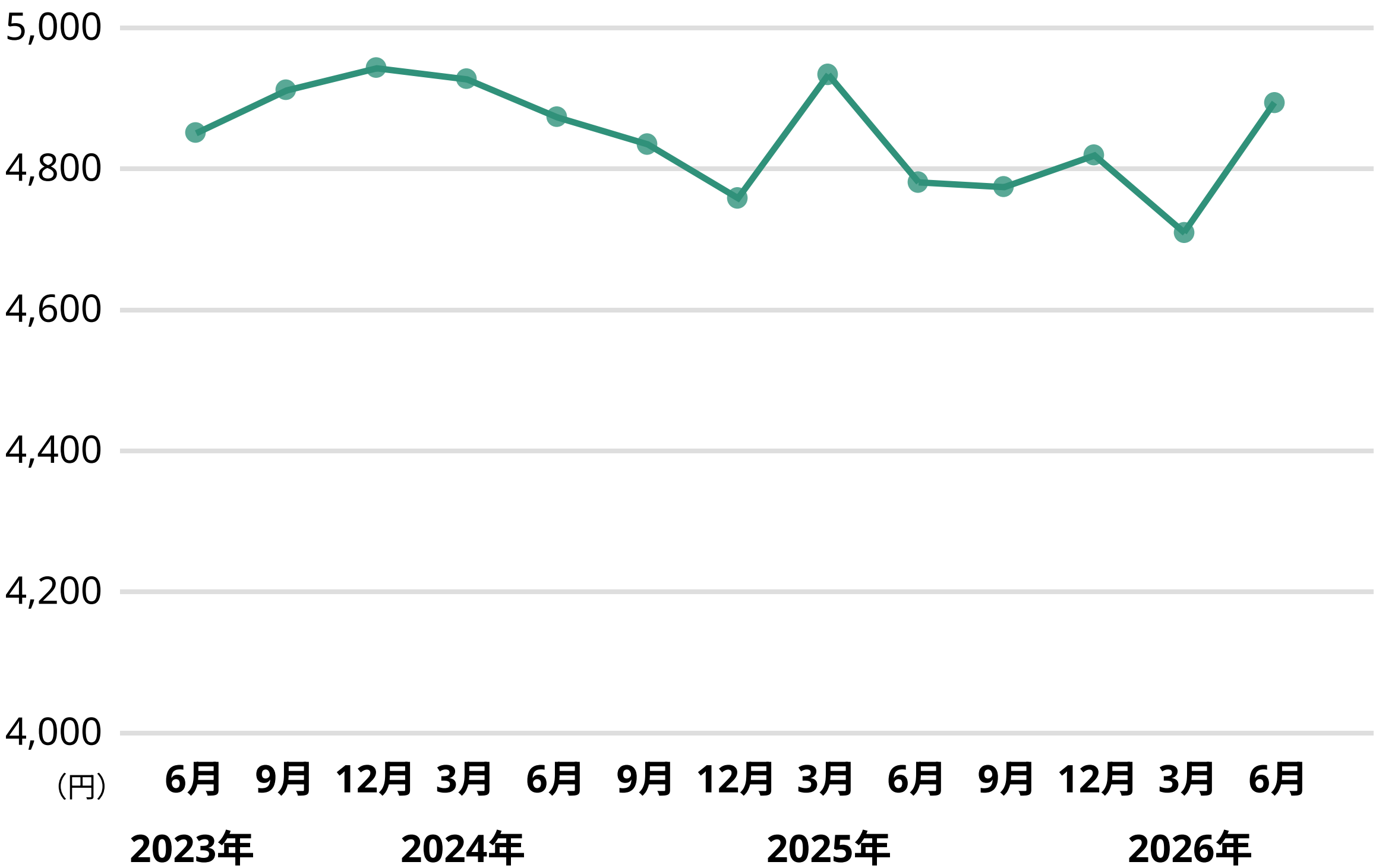
- 2026年6月末時点の定額課金店舗数は前年同月比 +3.8% の 31,566店舗と順調

有料掲載店舗数の推移

定額課金店舗 成果報酬店舗



定額課金店舗の平均単価の推移

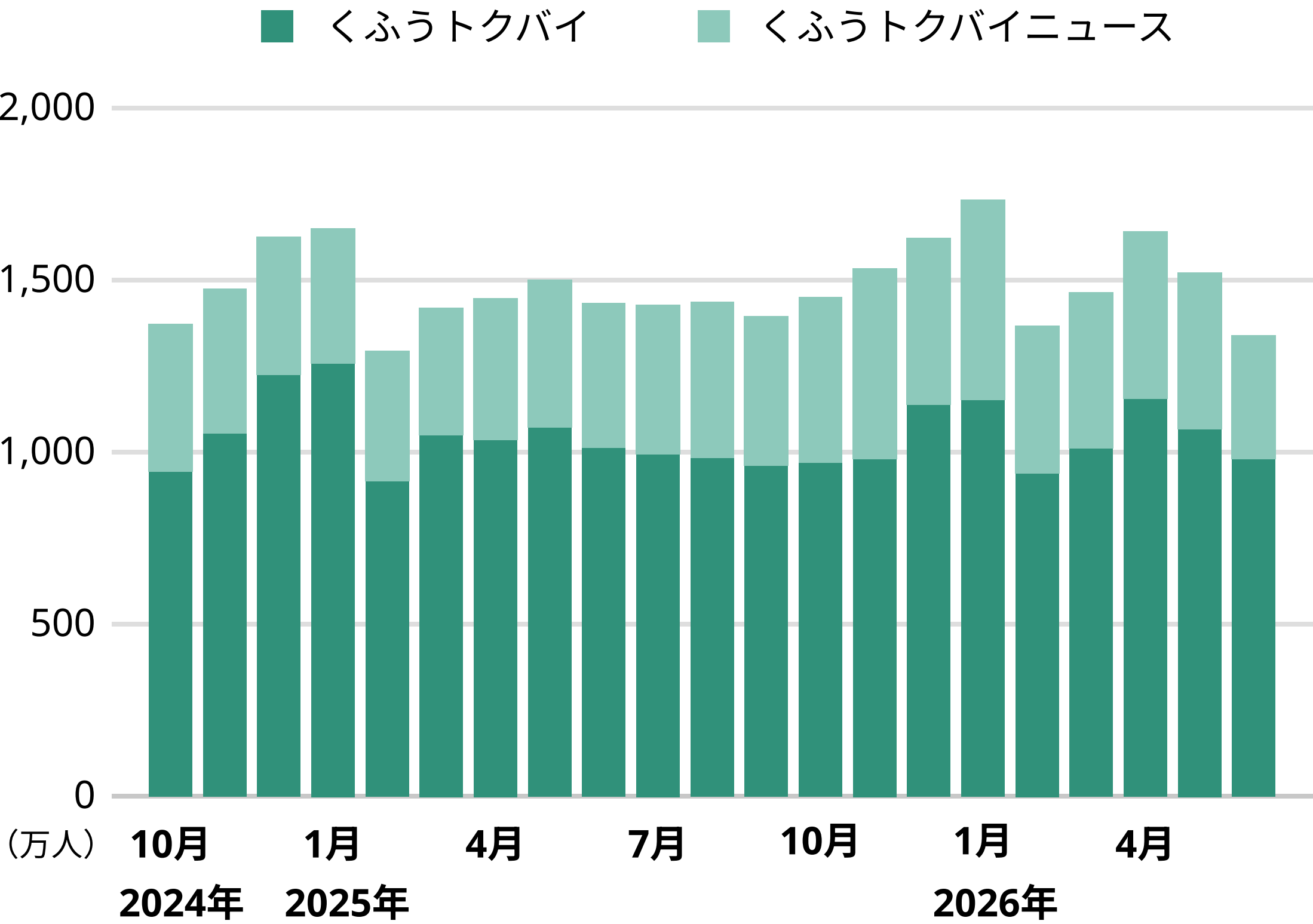


※ 定額課金店舗の店舗数及び平均単価において、コンビニエンスストア約 16,000 店舗との取り組みについては不算入。

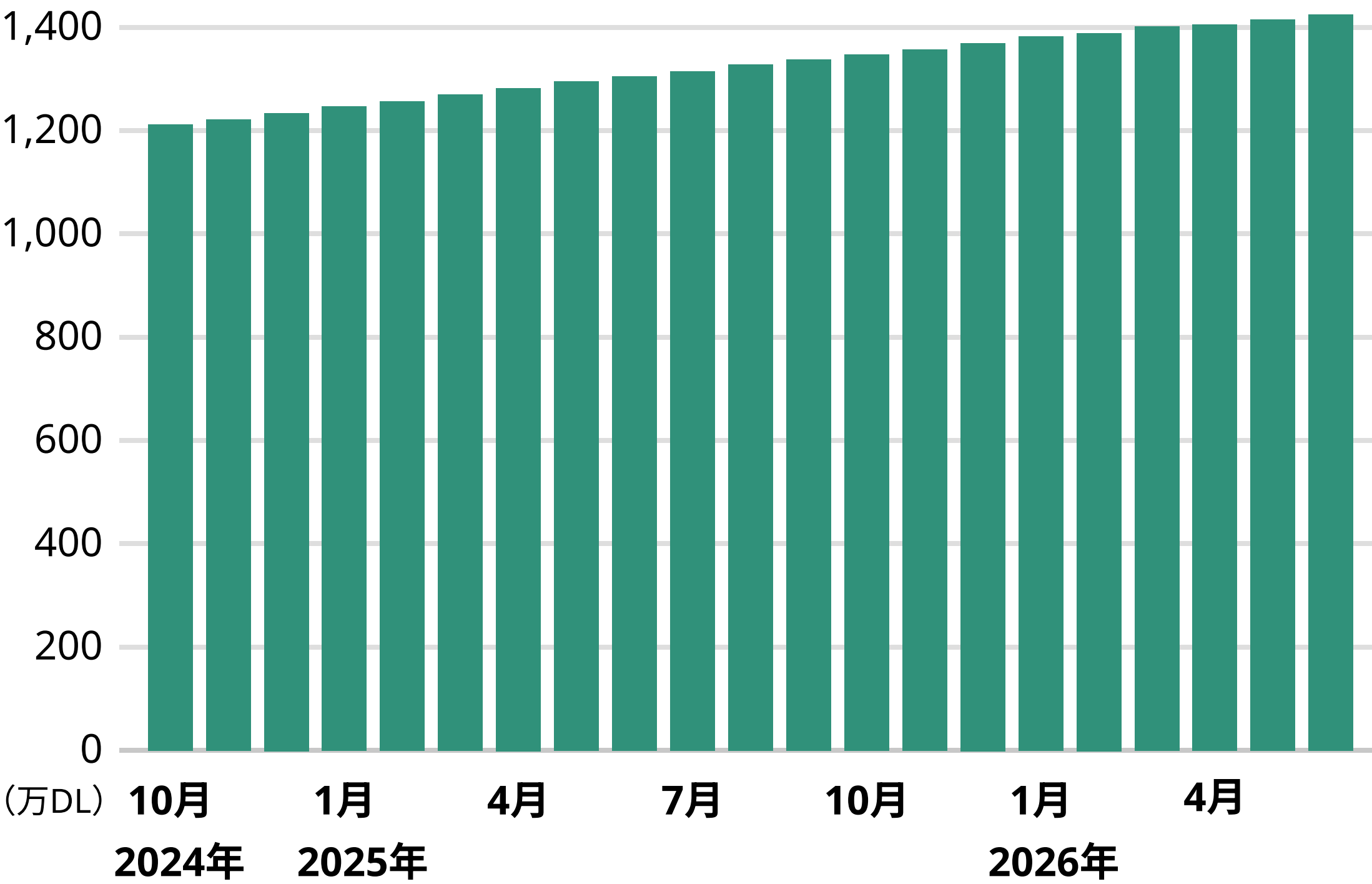
くふうトクバイ月間利用者数とアプリDL数の推移

- 2026年6月末時点のくふうトクバイ月間利用者数は 約1,300万人、累計アプリDL数は 約1,400万

月間利用者数



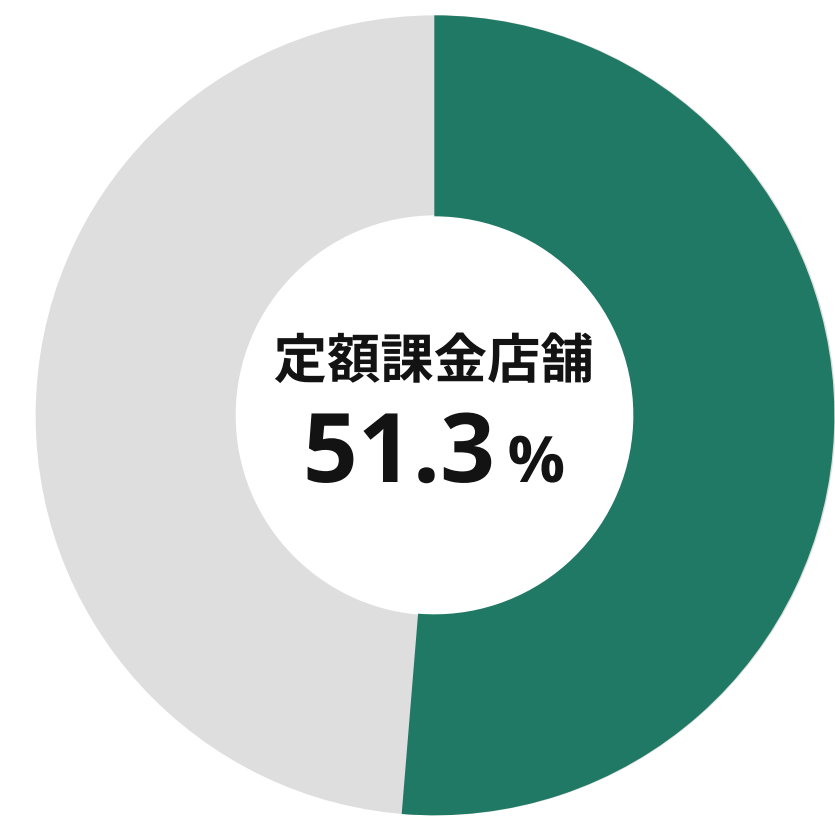
アプリDL数（累計）



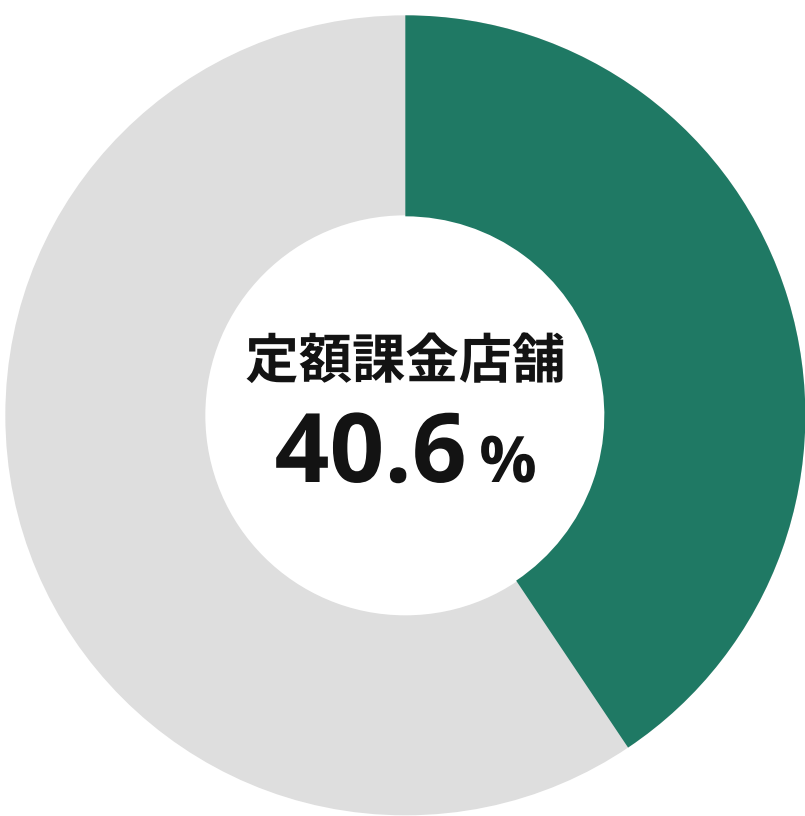
- ・ 特に注力する業態を家電量販店を含めた主要4業態とし、有償化のシェア拡大を推進していく方針
- ・ ドラッグストア業態については前四半期末から微減しているが、第4四半期以後での巻き返しを計る

主要4業態における業態別シェア※

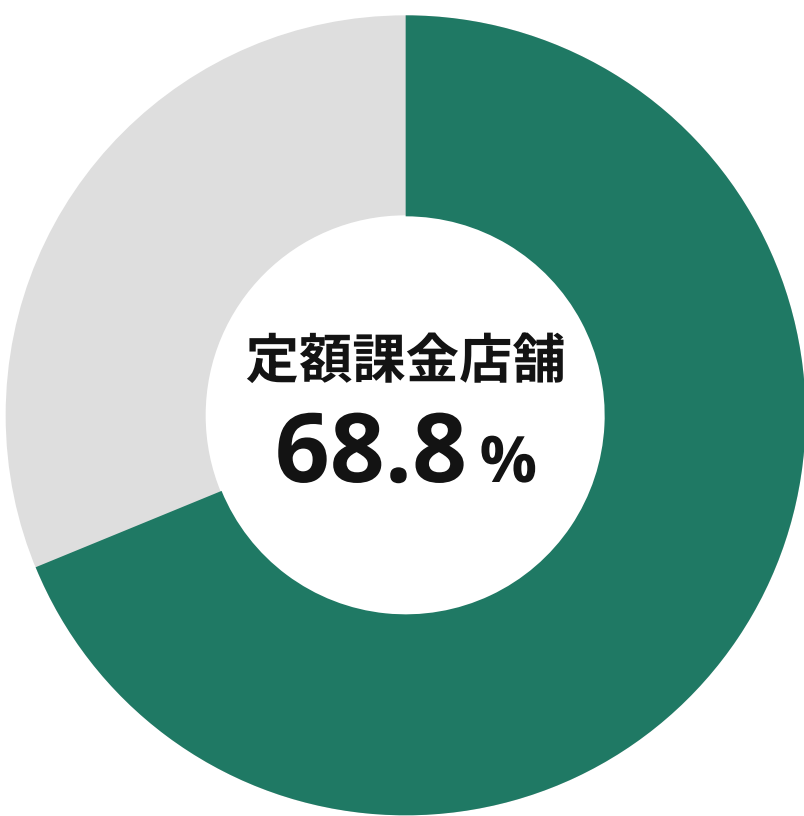
スーパーマーケット
国内市場：23,039店



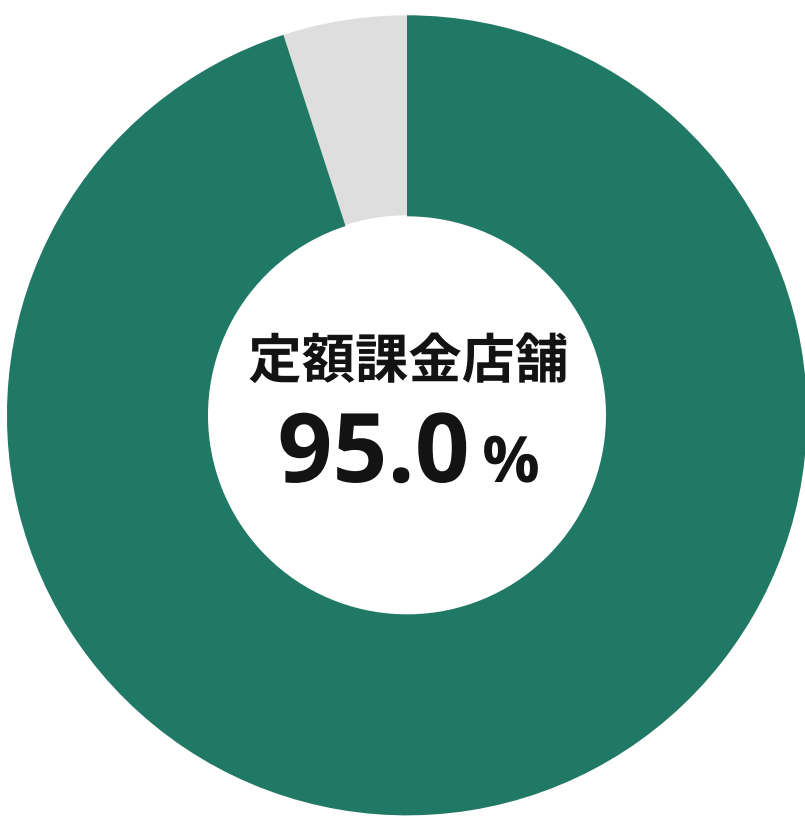
ドラッグストア
国内市場：23,723店



ホームセンター
国内市場：5,020店



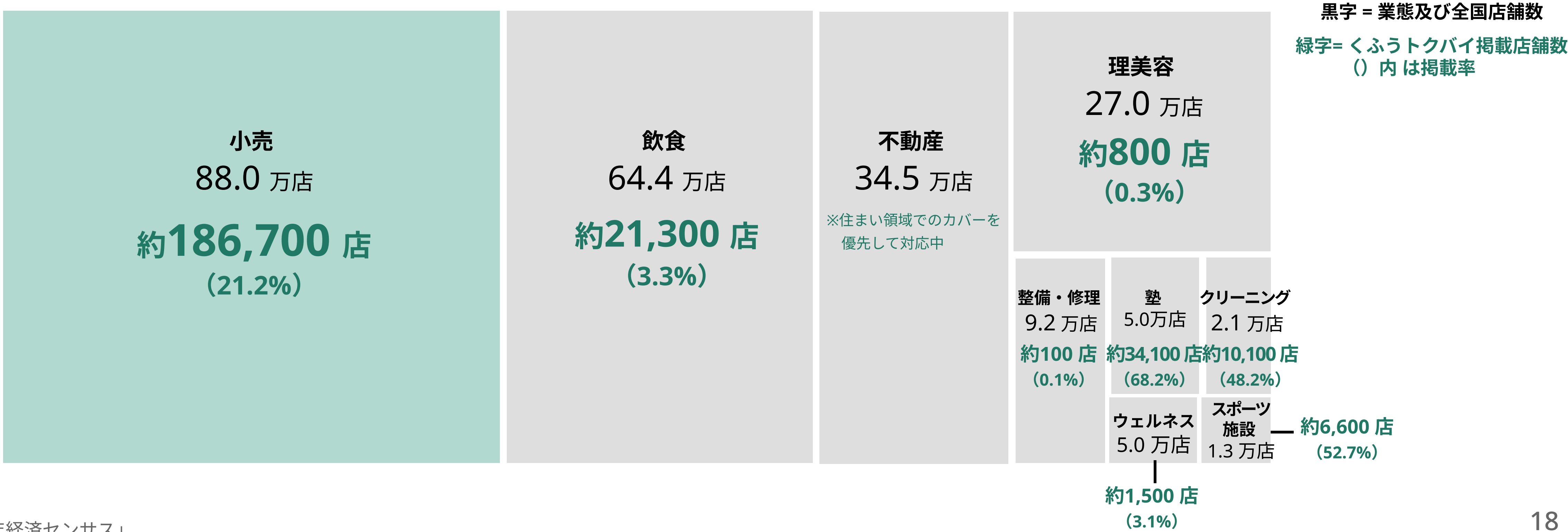
家電量販店
国内市場：2,670店



※ 出所：全国スーパーマーケット協会、日本チェーンドラッグストア協会、日本DIY・ホームセンター協会、経済産業省「商業動態統計調査」より当社作成。
各数値は2024年または2024年度ベース。家電量販店は「家電大型専門店」の2024年12月時点店舗数。

- 2026年6月末時点のくふうトクバイの掲載店舗数は約27万店、ターゲット市場全体に対する掲載率は 12.3%
- 掲載店舗数をできるだけ増やすことで、店舗情報の網羅性を高め、ユーザーの利便性を向上させていく方針

ターゲット市場合計：約220 万店 ※
2026年6月末時点のくふうトクバイ掲載店舗数：約 27 万店（掲載率12.3%）

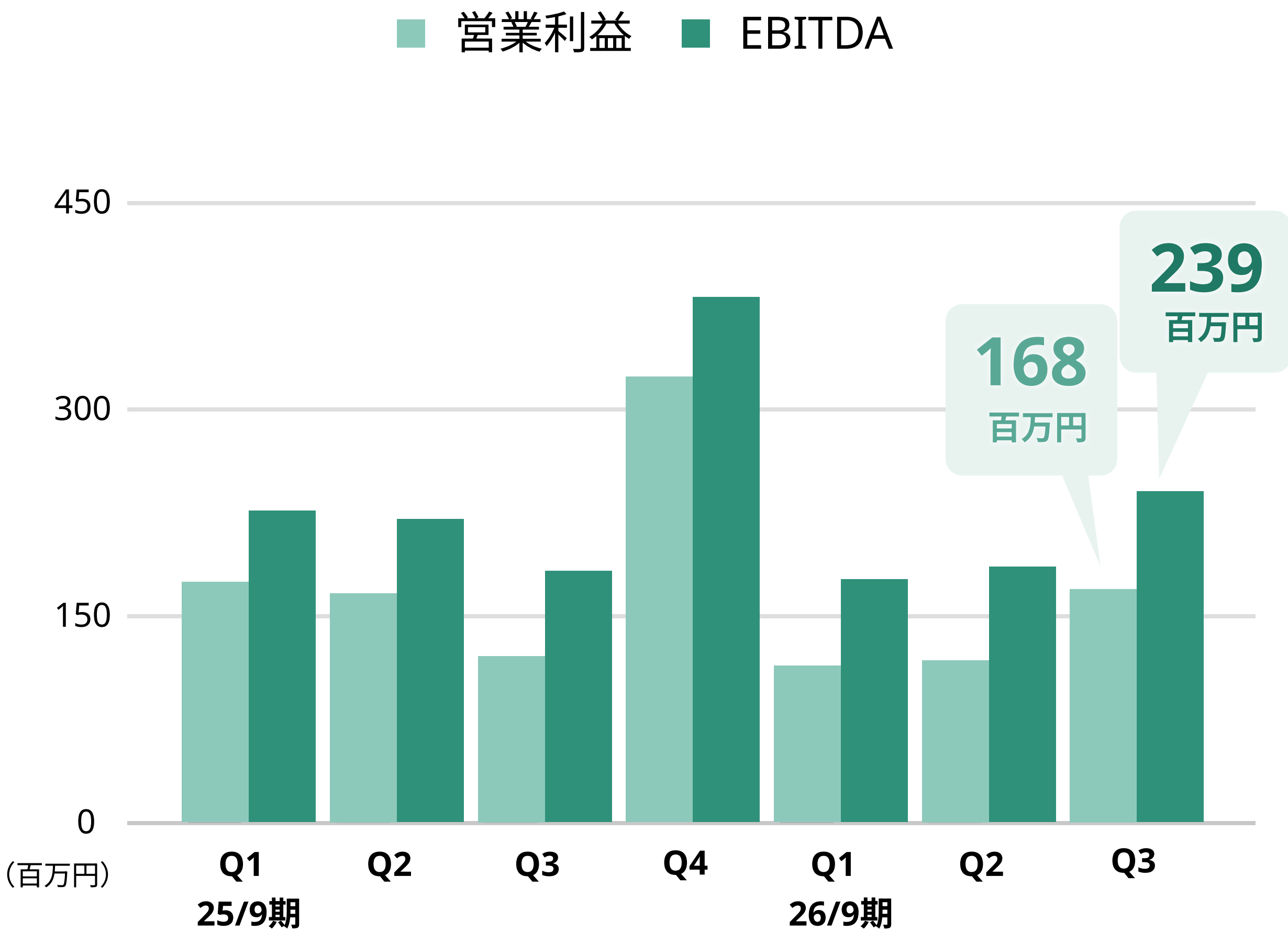
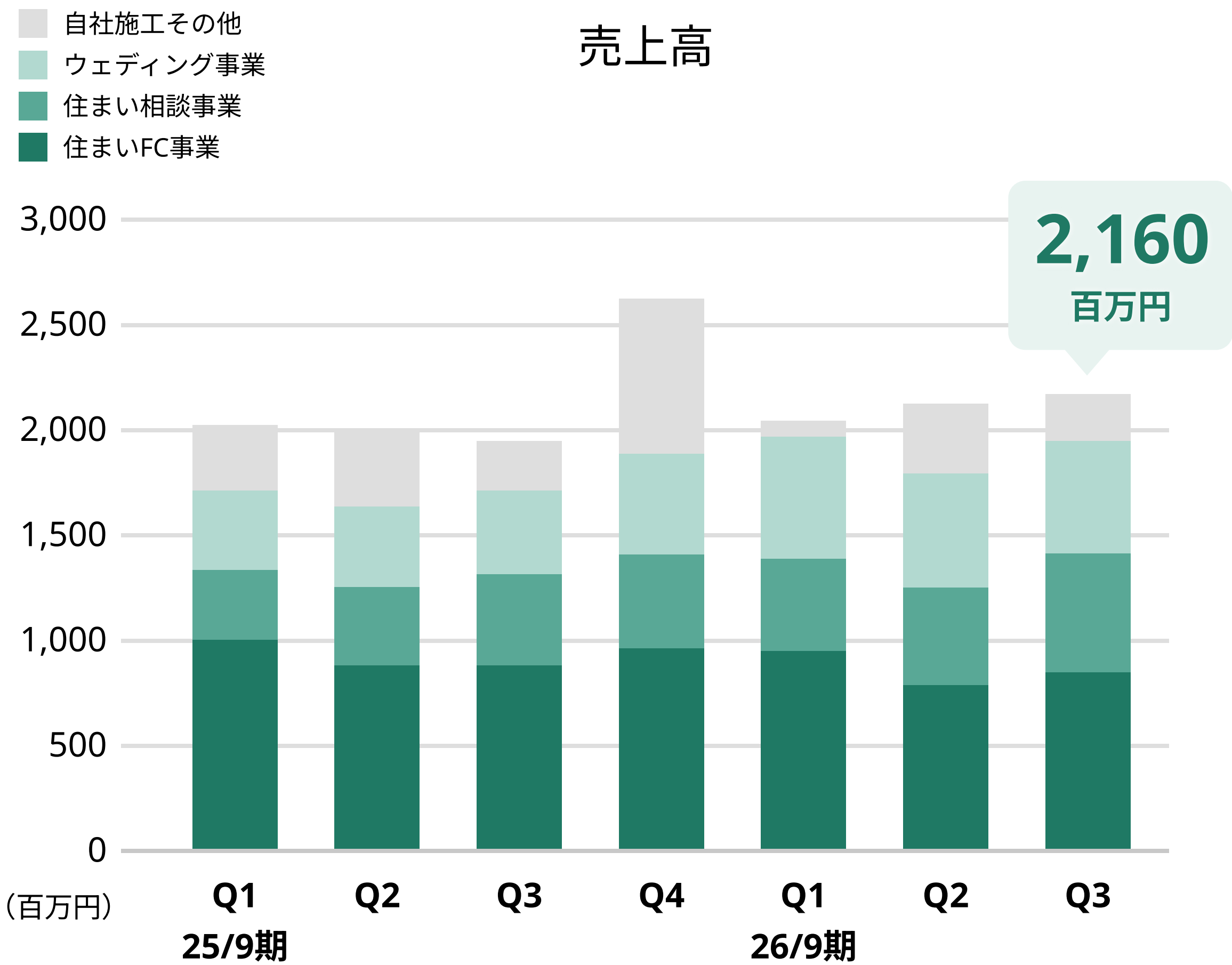


※ 総務省「令和3年経済センサス」

ライフイベント事業



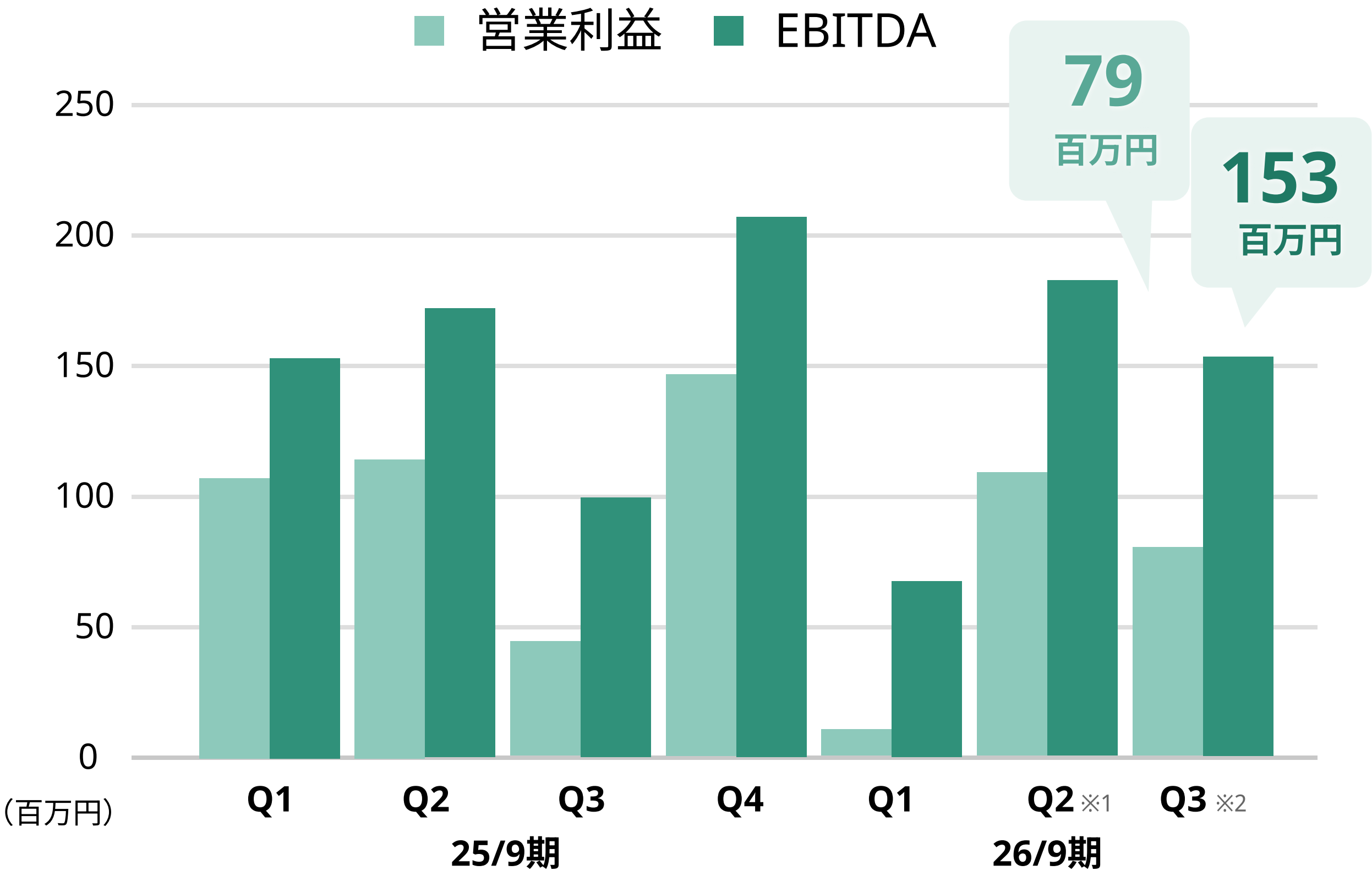
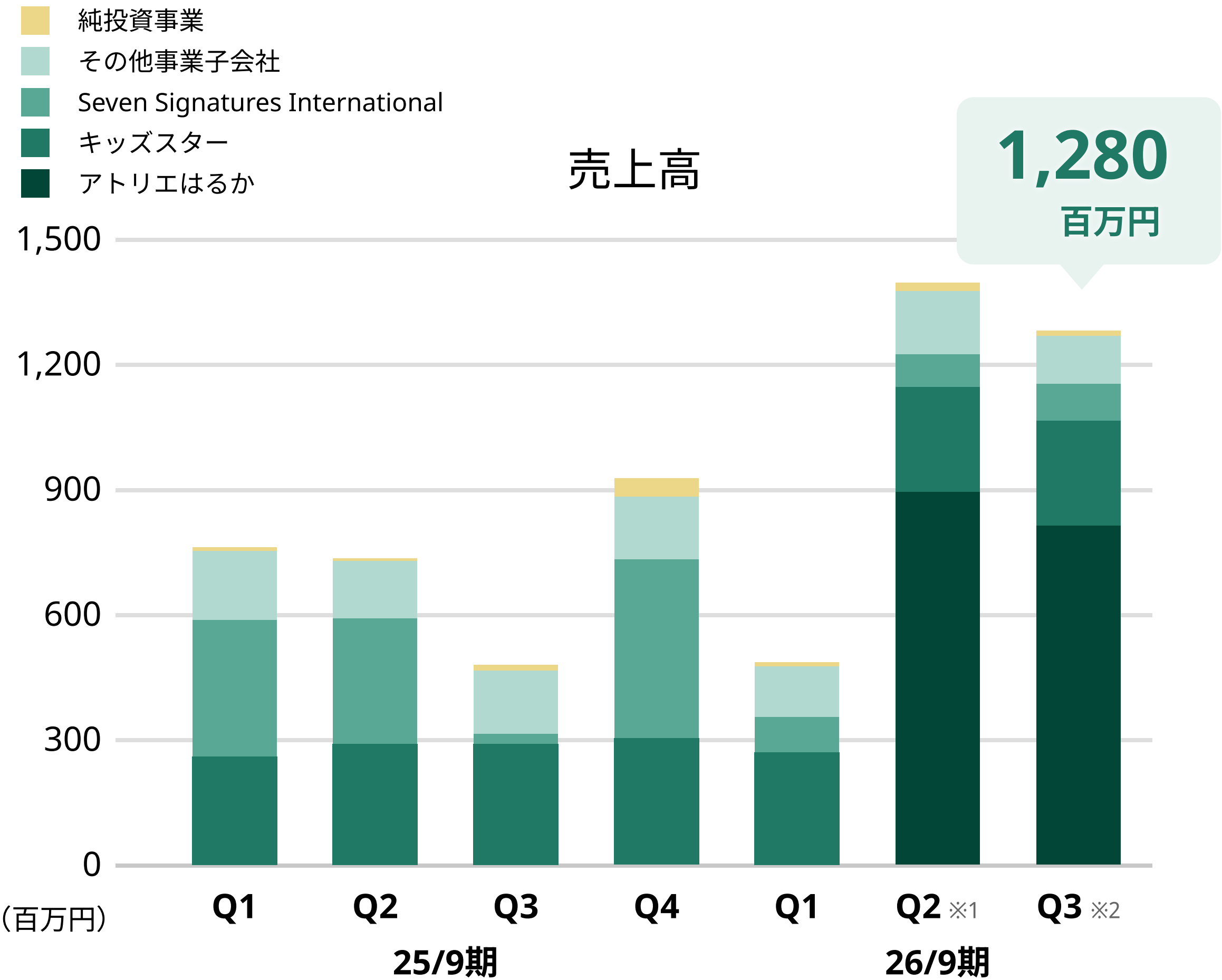
- ・ 住まいFC事業やウェディング事業の業績は安定的に推移
- ・ 住まい相談事業はオペレーション最適化の効果が出始め、セグメント売上高及び利益に貢献



投資・ インキュベーション事業



・ 季節性の影響もあるが、引き続きアトリエはるかの売上高及び利益が貢献



※1：投資・インキュベーション事業において (株)アトリエはるか を2026年9月期 第2四半期連結会計期間(Q2)よりP/L連結開始。
※2：2026年9月期 第3四半期連結会計期間(Q3)より、(株)くふうしずおかの全事業を (株)くふうカンパニーに統合し、投資・インキュベーション事業から毎日の暮らし事業に区分変更。

くふうカンパニーグループが提供する主要事業において、
オンライン・オフラインのサービスをワンストップで提供し、

No.1のサービスへ

買い物 2026年9月期中に掲載店舗数 & ユーザー数 No.1

住まい 2028年9月期中に住宅関連施工取扱い件数 No.1

結婚 2028年9月期中に結婚式取扱い件数 No.1

本資料の作成に当たり、当社は当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としていますが、その正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。また、発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として、その達成を約束するものではありません。当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化や顧客のニーズ及びユーザーの嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。なお、当社は、新たな情報や将来の事象により、本資料に掲載された将来の見通しを修正して公表する義務を負うものでもありません。

お問い合わせ

グループ経営企画部 IR担当

E-mail : ir@kufu.co.jp HP : <https://kufu.co.jp/>